

# メンター研修実施要領

## 1 メンター研修とは

メンター（先輩教員）が、メンティ（初任者や若手教員、講師等）との双方向の対話を通じて、メンティの課題解決や悩みの解消を援助する役割を担う研修である。

メンターとして関わることで、以下のような効果が期待できる。

- ・これまでの自己を振り返ることで、指導技術等についての学びを再構築することができる。
- ・メンティに関わることで、後進の育成に対する意欲や使命感等を向上することができる。
- ・組織の一員としてメンター研修に参画することで、ミドルリーダーとしての自覚が高揚し資質の向上を促すことができる。

## 2 目的

メンターが、定期的・継続的にメンティの相談を受けたり助言をしたりすることなどを通して、自らの資質や自覚を高め、ミドルリーダーとしての意識の高揚を図る。

## 3 対象

若手5年目研修から15年経過教員研修該当の教諭等を対象とし、各学校の実情に応じて校長の判断で実施する。

## 4 研修体制

各学校においては、以下のことに努める。

- ・メンター研修を円滑に実施できるようにするために、他の教職員も含めた協力体制を整備する。
- ・初任者が在籍している学校では、メンターは初任研ミーティングに加わる。
- ・メンターとメンティは1対1のペアに限らず、メンターについては、それぞれの資質・能力を生かしてその役割を担うなど柔軟な組み合わせを工夫し、負担過重にならないよう配慮する。
- ・メンター研修は、適切な人間関係のもとで実施するよう配慮する。
- ・メンティに相当する教員が不在の場合は、メンター研修として実施する必要はない。ただし、当該教員のミドルリーダーとしての資質向上が図られるよう配慮する。

## 5 研修内容

	センター研修（例）	校内研修
若手5年目研修	2年目研と5年目研のセンター研修(全体研修)の一部を合同開催とし、指導力向上研修を通して、共に考えたり経験を基に助言を行ったりする。	校長の指導の下、メンターとメンティが、内容や時期等を設定して主体的に取り組む。
中堅教諭等資質向上研修	【小・中学校のみ】 4年目研と中堅研の選択研修において、教科指導力の向上を目指し、共に考えたり、経験を基に助言を行ったりする。	＜取組例＞ ・授業づくりについて ・学級経営について ・生徒指導について 等
上記以外の第2・第3ステージ研修		※上記のような内容等について、日常的な指導や校内研修等の特定の場に応じて、特定の指導方法等に偏ることなく指導する。